

基本
施策

事業
目標

具
体
的
な
取
り
組
み
実
績
及
び
評
価

2 HIV 検査・相談体制の充実

今後 5 年間で
・年間の HIV 検査受検者数を 1.5 倍にする
・年間の MSM の HIV 検査受検者数を 1.5 倍にする
・年間の HIV 検査初回受検率 50%を維持する

HIV 検査受検者数及びMSM の HIV 検査受検者数：大目標・副次目標の項【P.8～9】参照

HIV 検査初回受検率

平成 22 年度 実績値	平成 28 年度 目標値	年次別実績値(受検者アンケートより)		
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
47.60%	50%を維持	47.4%	52.4% ※	49.3%
年次別目標値		50%	50%	50%

※4 月～9 月分の平均値

・平成 26 年度の初回受検率は 49.3%であり、目標値の 50%をほぼ維持している

(1) 各区保健福祉センターの体制整備

各区保健福祉センターの受検者数、陽性者数、陽性率の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年 4～6 月
受検者数	4,581 人	4,564 人	3,873 人	4,651 人	4,768 人	1,144 人
陽性者数	38 人	29 人	17 人	22 人	23 人	9 人
陽性率	0.83%	0.64%	0.44%	0.47%	0.48%	0.79%

(区における臨時検査受検者数を含む)

・平成 26 年度の受検者数は 4,768 人で平成 25 年度より若干増加している

・平成 27 年 4 月～6 月は平成 26 年の同時期(受検者数 1,334 人、陽性者数 5 人、陽性率 0.37%)と比較すると受検者数は減少傾向にあるものの陽性率が高い。

・保健福祉センターにおける HIV 検査件数増加のための担当者会開催(平成 26 年度 3 回)

・検査前ガイダンス用の資料を作成し、各区に設置しているが利用者が少ない。

・受検者アンケートの結果を受けて、平成 26 年 4 月より、北区水曜日の時間帯を午前から午後に変更。

検査時間帯別受検者数平均(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

	午前(9 時 30 分～11 時)	午後(2 時～3 時 30 分)※
実施回数	486 回	94 回
受検者数	3,557 人	1,127 人
1 回あたりの平均受検者数	7.3 人	12 人

※午後実施区：淀川区(月曜日)、北区(水曜日)

・平成 26 年度曜日別受検者数及び陽性者数、陽性率：【参考資料 P.31】

(2) 委託検査体制の整備

委託検査の受検者数、陽性者数、陽性率の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年 4～6 月
受検者数	6,336 人	5,206 人	5,518 人	7,077 人	7,233 人	1,789 人
陽性者数	49 人	31 人	20 人	40 人	40 人	15 人
陽性率	0.77%	0.6%	0.36%	0.57%	0.55%	0.84%

- ・平成 24 年度から平成 25 年度に大幅に受検者数が増加したのは、25 年度より土曜日の委託検査を即日検査としたこと、11 月の献血による HIV 感染の報道、12 月より土・日の即日検査の定員を 40 人から 50 人へ拡大したこと等が理由と考えられる。
- ・平成 25 年度から平成 26 年度に受検者が微増となったのは、大幅な体制の変更は無いものの、受検者が定員 40 人の上限に達していた土、日の受検者が増えていることによると考えられる。
(土曜日 2,111 人→2,290 人、日曜日 2,075 人→2,099 人)

(3) キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

夜間休日イベント検査の受検者数、陽性者数、陽性率（平成 26 年度）

場所	実施日	時間帯	種別	定員	受検者数	陽性者数
淀川区役所	H26.6.20(金)	17:30～19:00	通常	—	20 人(男 11 女 9)	0 人
中央区役所	H26.11.28(金)	16:30～18:00	即日	25 人	13 人(男 10 女 3)	0 人
淀川区役所	H26.12.5(金)	17:30～19:00	通常	—	21 人(男 15 女 6)	0 人
西成区役所	H26.12.8(月)	17:30～19:00	即日	30 人	30 人(男 22 女 8)	0 人
dista	H27.1.17(土)	14:00～18:00	通常	—	60 人(男 60 女 0)	1 人

- ・MSM を対象に、MASH 大阪と協働し、コミュニティセンターdista でイベント検査「dista でちえっくん」を実施。
検査前ガイダンスや結果説明において、知識の普及啓発や定例検査の紹介等を行った。
想定 50 人を超える 60 人が受検（陽性率は 1.7%）した。

エイズ予防週間実行委員会イベント検査

日 時：平成 26 年 12 月 3 日（水）、12 月 5 日（金）18 時～

場 所：chotCAST なんば 対 象：MSM 受検者：計 12 名

(4) 広報等

- ・平成 26 年度に大阪市ウェブサイト HIV 検査案内ページに、保健福祉センターHIV 検査受検の流れを掲載。
- ・ウェブサイトや紙媒体、バナー広告、SNS 等周知したい対象者に合わせて広報手段を変え、効果的に情報を伝えるように工夫している。

広報	連携先
大阪市・区役所ウェブサイト	
HIV 検査・相談マップ	
おおさかエイズ情報 NOW	大阪府・保健所設置市
HIV 検査普及啓発ポスター	創造社専門学校、follow
エイズのはなし（高校生のあなたへ）	教育委員会事務局
南界堂通信	MASH 大阪
イベント検査広報 ・チラシ、コンドーム、冊子、ティッシュ配布 ・区役所広報誌、生保だより ・facebook、twitter、ゲイ向けアプリバナー広告	SWASH、虹色ダイバーシティ、 MASH 大阪等

（５）相談等

保健福祉センター・保健所における相談件数（延）

- ・平成 26 年度は 6,210 件（訪問 20 件、面接 4,827 件、電話 1,363 件）であり、受検者数の増加に伴い、年々相談件数が増加している。（平成 25 年度 5,711 件、平成 24 年度 4,863 件）

エイズ専門相談（平成 26 年度）

相談場面	定例専門相談（北・中央）	告知時	医療機関	計
件数	53 件	15 件	85 件	153 件

（平成 25 年度 計 142 件）

- ・平成 26 年度から「定例専門相談」を予約せず相談を受けられる体制へ変更。
前年度の 45 件から 8 件増え、53 件となった。

外国人を対象とした施策

- ・受検者配付用の HIV 検査時外国語資材（英語、中国語）を作成
「HIV/性感染症検査をお受けになる方へ」「HIV/性感染症検査をお受けになった方へ」
- ・外国語 HIV 検査案内
大阪市ホームページ（英語、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語）
エンジョイおおさか（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）
- ・外国語相談
外国語による電話相談事業（NPO 法人 CHARM に委託）
英語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、英語・フィリピン語
トリオフォンを用いたエイズ電話相談（大阪国際交流センター）
英語、中国語、韓国・朝鮮語

(1) 各区保健福祉センターの体制整備

- ・ 午後の1回あたりの受検者数が多いこと等を考慮して、検査時間帯を検討する必要がある
- ・ 検査前ガイダンス用の資料（HIV 検査受検前資料）の活用方法を改善する必要がある

今後の計画

- ・ 受検者が利用しやすい時間帯等を考慮した検査体制を立案する。
- ・ 検査前ガイダンス用の資料の内容を改訂し、大阪市ホームページに掲載する

(2) 委託検査の体制整備

- ・ 受検者数が増加していることから、即日検査の体制を維持する必要がある

今後の計画

- ・ CCN での即日検査体制等を継続的に実施する

(3) キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

- ・ 受検者数が定員に達しなかった検査があった
- ・ MSM を対象としたイベント検査は有効であったため継続的な実施が必要である

今後の計画

- ・ 実施場所、対象者、広報について検討する
- ・ 平成 27 年度に MASH 大阪と協働し MSM を対象とした夜間休日通常検査「dista でちえっくん」を3回実施する

(4) 広報等

- ・ 様々な方法を用いて広報を実施しているが、受検者増加につながりにくい場合がある
- ・ 個別施策層の中で、CSW、薬物使用者に特化した広報が十分でない

今後の計画

- ・ MSM に向けた検査に関する広報の充実として、対象者の集まる場所（例：ゲイ向けクラブイベント）や、対象者の目に触れる媒体（例：ゲイ向けアプリ）へ検査広報を行う
- ・ 「dista でちえっくん」周知はゲイ向けアプリにバナー広告を用いて行う
- ・ CSW 支援団体、薬物使用者支援団体と連携し HIV 検査広報について検討する